

畿央大学後援会だより

発行：畿央大学後援会
2013年 9月 2日
第10号



ごあいさつ

畿央大学後援会 会長

清水 隆平

暦の上では暑い盛りもすでに過ぎているこの頃ですが、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

まずこの度、上山前会長の後任として後援会長に就任させていただきました事ご報告致します。退任された役員の皆様には学校と学生達の仲立ちとして大学の発展に関し多くの功績を残して頂き有り難うございました。

畿央大学の最大の魅力は心温かい先生、大学のスタッフの方々、学生達の3者の距離の近さだと感じています。会員の皆様とお話しをしていると、学長や先生方と学生との間の心触れあうエピソードが多く聞こえてきますし、日頃の学校生活に欠かせないスタッフの方との楽しい話題も良く聞きます。私達後援会もこの輪の中に参加すべきではないでしょうか。

また、先生方からのお話しに「入学した頃の学生はまだまだ子供である。しかし、仲間と助け合いながら研究をする事や、社会人と時間を共有することによりみるみる成長し今では「大人」の仲間入りをしてきたように感じる。沢山の経験をさせてあげる事が重要であるようだ。」とありました。私達はこの言葉のお手伝いもすべきと考えます。

青春のど真ん中でキラキラと輝いている学生達が次のステージに駆け上がる喜びを持てるように、多方面からのご意見を頂ければ幸いです。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

後援会の皆様へ

学校法人冬木学園 理事長
畿央大学 学長

冬木 智子



ここ大和の地、畿央大学の上空はさわやかな秋色がひろがってきております。

そして早や後期を迎える今、学生達の行き交う姿が充実感とともに明るさに満ちております。顧みますと畿央大学としてこの地に大きい夢を抱いて開学致しましてより早や10年の歳月が経過して参りました。既にご承知のことと存じますが、名称に違わず当大学の評価は、地域をはじめ全国的にも広く認識される状況になっておりますことは誠に喜ばしい限りであります。これもひとえに、本学園の創立以来60有余年に及ぶ建学の精神に基づく人格形成に、ご理解と惜しみないご協力を頂いて参りました教職員の熱意と努力、そして保護者の皆様のご支援の賜物であると存じております。

改めてふり返りますと、ささやかな自宅の教室より発足した冬木学園の60有余年の歩みと畿央大学の学生、その保護者の皆様との出会いは、誠に意義深い尊いものではないかと存じます。学生には、この出会いの重みを感じとり、学びの歩みを大切にしたいと思います。

ここに本学の後援会の皆様の変わらぬご健康を祈念するとともに更なるご支援をお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。



これからの畿央大学

健康科学部長 健康科学研究科長 金子 章道

畿央大学は今年開学10周年を迎えました。遅れて出発した大学院も7年目に入りました。畿央大学後援会会員の皆様からは、本学の教育に対し日頃より深いご理解と多大なご支援をいただいております、この場をお借りして、深く感謝申し上げます。

あと10年しますと畿央大学は人でいえば成人式を迎える年齢になります。その頃には、しっかりと自立した大学にならねばなりません。後発の小規模な私学としてその存在を維持していくためには、他の大学にはないもの、みんなから憧れを持たれる大学にならなければなりません。世の中の関心が「健康」に向いているいま、理学療法学、看護医療学、健康栄養学、環境デザイン学など健康を科学する学問領域を擁する健康科学部と大学院健康科学研究科では、科学的な根拠に基づいて「健康」を研究し、健康推進の旗頭になることが目標です。その目標に向かって教職員一丸となって努力するつもりでありますので、後援会会員の皆様もなにとぞ温かく見守り、ご支援くださいますようお願いいたします。

人格と学力

教育学部長 白石 裕



皆様、こんにちは。本学では去る6月29日(土)に開学10周年記念行事の1つとして「21世紀を生き抜く子どもの学力形成」をテーマにシンポジウムを開催しました。学生や教育関係者約250人の参加の下、活発な質疑応答が行き交う爽やかなシンポジウムになりました。そのなかで参加者の関心と呼んだテーマの1つに、人格と学力の関係をどのようにとらえるかがありました。基調講演者の安彦忠彦氏(名古屋大学名誉教授)は、単純化して言えば、人格・学力の二元論の立場から人格の優位性を説き、シンポジストの一人の松下佳代氏(京都大学教授)は、人格・学力の一元論の見方を示しました。私は、学力の基底を成すのはその人の審美眼、感性、想像力、忍耐力など人格的要素だと思っていますので、二元論に軍配をあげたいのですが、皆様はどのようにお考えでしょうか。こうした教育の根本的な問いについて、皆様と一緒に考える機会をもっと持つことができたと願っております。末筆ではありますが、残暑の折、皆様のご健勝を祈念いたします。

CONTENTS

ごあいさつ	P 1	健康科学部 人間環境デザイン学科	P 9
後援会総会・保護者懇談会	P 2	教育学部 現代教育学科	P10
魅力ある未来へ	P 4	担任からのコメント	P11~13
健康科学部 理学療法学科	P 6	保護者アンケートのご報告	P14
看護医療学科	P 7	ホームページのご案内	P15
健康栄養学科	P 8	第11回畿央祭 授業日カレンダー	P16

平成25年度

後援会総会を開催

7月6日(土)保護者懇談会の全体会終了後、午後2時より冬木記念ホールにて後援会総会を開催しました。また、総会に先立って午前中に後援会役員会が開催されました。

役員会では、大学への要望や期待などが交流され、大学事務局からは、来年度に向けて始まった新校舎の建設と設備の充実についての報告がありました。そして、今年度も畿央祭への保護者の参加を呼びかけていくことや新増設される校舎等への施設設備の充実への協力などを盛り込んだ総会議案が確認されました。

総会では、はじめに役員会を代表して上山会長からご挨拶をいただきました。その後、議事に入り、平成24年度の事業報告、監査報告を審議し、承認されました。つづいて、平成25年度事業計画、予算案が審議されました。事務局より、今年度の事業計画・予算の主な内容として、引き続き後援会の独自活動の充実をはかること、奨学金、国家試験対策、学生の自主活動等に対する

助成は昨年水準を維持すること、施設設備の充実への助成を今年度と来年度の予算で柔軟に進めることなどが報告され、事業計画・予算案は承認されました。

役員の改選では、役員会で推薦された清水新会長をはじめとする12名の役員と4名の顧問が承認

されました。本年度の後援会役員は表のとおりです。会員の皆様のご協力を得ながら

活動を進めていきたいと決意を新たにしています。

●新役員

役職	役員氏名	新・再	学生の所属等
会長	清水 隆平	新任	健康科学部 人間環境デザイン学科
副会長	森本 勝	再任	教育学部 現代教育学科
副会長	藤本 秀隆	再任	健康科学部 人間環境デザイン学科
会計	南 正美	新任	健康科学部 理学療法学科
書記	小松 美佐	再任	学生支援センター職員
書記	中西 弘典	再任	健康科学部 健康栄養学科
委員	中川 裕子	再任	学生支援センター職員
委員	田中 茂男	再任	教育学部 現代教育学科
委員	前阪 俊二	新任	教育学部 現代教育学科
監事	山口 良子	新任	健康科学部 看護医療学科
監事	櫻井 恭子	再任	教育学部 現代教育学科
顧問	冬木 智子	再任	教育学部 現代教育学科
顧問	冬木 正彦	再任	畿央大学 学長
顧問	金子 章道	新任	畿央大学 副学長
顧問	白石 裕	再任	健康科学部 学部長
			教育学部 学部長

畿央大学後援会とは

畿央大学後援会は、畿央大学の学生の父母または保証人をもって構成される団体です。学生の教育や厚生に必要な施設設備の充実、研究活動やクラブ活動などに必要な援助を行うことによって子どもたちの学生生活の充実と畿央大学の発展に貢献することを目的としています。また、会員相互の連携をすすめるとともに大学と父母または保証人をつなぐ役割を担って、保護者懇談会や広報の取り組みをすすめます。

保護者懇談会・懇親会に寄せられた声

理学療法学科

- 懇談会に出席して、学内の様子や学科の説明がよくわかって良かったと思います。懇親会には出席しませんでした。他学部のお母様とも交流ができ、楽しむことができました。お土産のオリジナルクッキーは畿央大学を大切に思う、また学生たちを大切に思う気持ちが込められているようで、本当にありがとうございました。参加できて良かったです。
- 他校にはない懇談会を行って頂き、ありがとうございます。今回はたくさんの先生方とお話しさせて頂く事ができ、子どもの様子を知ることが出来ました。先生方が子ども達の名前を憶えていて下さり本当にありがたい学校でサポートして頂いているということを感じました。



- 畿央大学の素敵なところをもっともっと知らせていきたいと思いました。個別指導を大切にしてください。
- 学科説明会の順序だてての説明がとても分かりやすかったです。

看護医療学科

- 先生方の熱意が感じられ、この学校に入学できたことを親子共々に喜んでおります。学生と学校が一体となり世間から噂になるような取り組みができればよいですね。そうしたことで知名度が上がればと思います。
- 懇親会に初めて参加しました。先生方とお話ができて、学校での様子をお聞きできて有意義なひとときでした。
- 懇談会だけではなく、懇親会の場までも設けて下さってありがとうございます。教員の方々や他の保護者の方々とコミュニケーションがとれ、畿央大学がより身近に感じられます。年に1回のこの機会をとても楽しみにしています。
- 本当にいつもありがとうございます。いい学校に入学させていただいて、弟(高校生)も志望しております。「難しいのよ!」とはっぱをかけております。
- 学科別説明会では国試対策やふだんの様子をお聞かせいただきまして、親として



- 大変安心致しました。懇親会での先生方のお心遣い、おいしい料理をありがとうございました。名前をあげるだけで先生方がご存知でいて下さったことに驚きました。少人数ならではの行き届いた教育をされていると実感致しました。
- 地道な成長・発展がうれしいですね。マンモス大学にならず、今のようなきめ細かいサポートが続きますように。

健康栄養学科

- 娘は栄養教諭を志望しています。「採用試験落ちたらどうするの?」親としての一番の心配事です。個別相談では、全国の採用試験結果のデータを用意してくださり、改めてその高い競争率にため息がでましたが、就職浪人されると経済的に困

第8回 保護者懇談会・懇親会を 開催しました。

7月6日（土）午後1時より保護者懇談会が開催されました。今年で8回目を迎えた保護者懇談会は、とても暑い日となりましたが、各地から200名の保護者が参加されました。

全体会では、冒頭の冬木学長、上山後援会会長のあいさつにつづいて、「青年期の心



理と親子関係について」と題して教育学部の粕井みづほ教授による講演が行われました。参加者からは、「子どものかかわり方を考えさせられた」「子供をどう見守り、どう規範を示せば良いかわかった」などの声が寄せられました。次に水上入学センター長より、2013年度入試の結果から見える畿央大学と学生の姿についての報告がありました。

全体会、後援会総会の後、学科ごとに分かれての学科説明会が開催されました。学科教員、担任の紹介や学科での学生生活や授業の様子、国家試験対策や教員採用試験対策の取り組みなどについて報告・説明が行われました。

その後、個別の相談会や



学生の案内による学内見学などが行われ、ひきつづいて食堂で懇親会が開催されました。懇親会は食堂1階に健康科学部、地階に教育学部と分かれて開催され、学科ごとのテーブルを囲んで、教職員と保護者、保護者同士の懇談が和やかに繰り広げられて、大学生活の様子や就職のことなど様々な情報交換が行われたようです。

保護者懇談会・懇親会では、学生と教員の距離が近い大学であることや学生の進路に向けて積極的な取り組みが行われていることを感じ取っていただき有意義なひと時を過ごしていただくことができたようです。参加者から寄せていただいたアンケートやご意見を生かして、今後も保護者のみなさまにとってより有意義な保護者懇談会や説明会を開催していきたいと思ひます。いっそう多くの保護者のみなさまのご参加をお待ちしています。

保護者懇談会・懇親会に寄せられた声

る、親はどうしたらよいかなど、遠慮なく本音で相談させていただきました。

- 充実した懇談会・懇親会でした。来年も出席させて頂きたいと思っております。
- 就職について充分相談できたので、参加して良かったと思ひました。
- 4年間毎年参加させて頂き、先生やご父兄の方とお話できたこと、大変うれしく思っています。子供が畿央大学に入学して本当に良かったです。
- 先生方にフランクにお話して頂いたり、先輩（4回生）の保護者の方とも色々お聞きできたりして参考になりました。

人間環境デザイン学科

- 先生方に変えお気遣いいただき、感謝しています。大学においての子供の様子が



少しわかり、不安も感じていますが、先生方をお願いしておまかせすることで安心できると思ひました。今後ともどうぞご指導いただきますようお願い致します。

- スタッフの学生さんが一生懸命でした。

現代教育学科

- 学生さんが優しくて気持ちの良い対応をして頂いてうれしかったです。採用試験のこと、勉強になりました。参加させて頂いて良かったです。
- 担任の先生とマンツーマンでお話しさせて頂き、大変有意義な時間を過ごせました。子供が自分の進路について悩んでいたのもとても参考になりました。本当に有難うございました。畿央大学のきめ細やかなサポートシステムに非常に満足しています。
- 懇親会では先生方が子供のことを知っておられるので、本当に驚きました。子供はあまり学校であった事を話さないもので、学校生活の様子がわかりました。子供が学校に行くことが楽しく学んでいる姿を見て、本当に先生方に感謝しています。
- 他の大学にはない懇親会やイベントを企画して下さいありがとうございます。在学の4年間でできるだけ参加させていただきたく思っております。



- 親が知らない子どもの様子など教えて頂き、とてもうれしかったです。家に帰ってからの会話ははずみ、とても良い機会でした。また、校門のところで学生さんが案内をしながら「こんにちは」と声をかけてくれるのがとても好印象でした。いい大学に通えて幸福です。
- 懇親会の設定などいつもありがとうございます。先生方と直にお話する機会がもてることは大変親として安心感もあり、感謝いたしております。
- 年1回の保護者の方々と再会でできて、とても良い行事だと思います。今回は回生ごとにテーブルセッティングでしたので、4回生という同じ環境におかれている現状のお話も出来て良かったです。ありがとうございました。

魅力ある未来へ

後援会だよりの紙面をお借りして、畿央大学2014年構想と校舎新増築工事の状況をご紹介します。

健康と教育の分野で、豊かな人間性と専門的な能力をかねそなえた人材を養成するという目標のもと、畿央大学は10年間の歩みを着実に進めてきました。そして今、さらに次の一步を進めようとしています。教育・研究力を高め、時代のニーズに応え、さらに魅力ある畿央大学をめざします。

教育力の向上

時代のニーズに応える人材養成

高齢化が世界の中でもいち早く進んでいる日本においては、心身ともに自立し、健康的に生活できる期間、いわゆる「健康寿命」を延ばすことが切実な課題になっています。そのためには栄養バランスのとれた食生活と適度な運動が必要です。健康科学部健康栄養学科では「栄養」と「スポーツ」の両方の専門性を系統的に学ぶため「スポーツ栄養コース」を新たに設けます。またチーム医療の一員としての専門性を身につける「臨床栄養コース」、健康と美味しさを追求する「食品開発コー

ス」の3つのコースで、これからの社会に役立つ管理栄養士を養成します。

一方、社会変化の中で発達遅れがあったり、コミュニケーションが取りにくい子どもの数が増えてきています。教育現場では、特別支援を必要とする子どもたちについての知識と対応力が欠かせない状態になっています。畿央大学では教育学部に「特別支援学校教諭免許課程」(認可申請中)をおくのとあわせて、「特別支援教育入門」の授業を学部生全員を対象とした授業として開設します。



P棟新築・R棟増築工事地鎮祭

ニューロリハビリテーション研究の中核拠点となり、脳科学の進歩・伸展と手を携え、新しいリハビリテーション手法や技術を導入するなど、医療機関や教育機関と連携した研究と実践をつなぐプラットフォームの役割を担うことを目的としています。

また教育の分野でも複雑で多様化、高度化するさまざまな教育課題の出現



R棟工事現場

研究力の向上

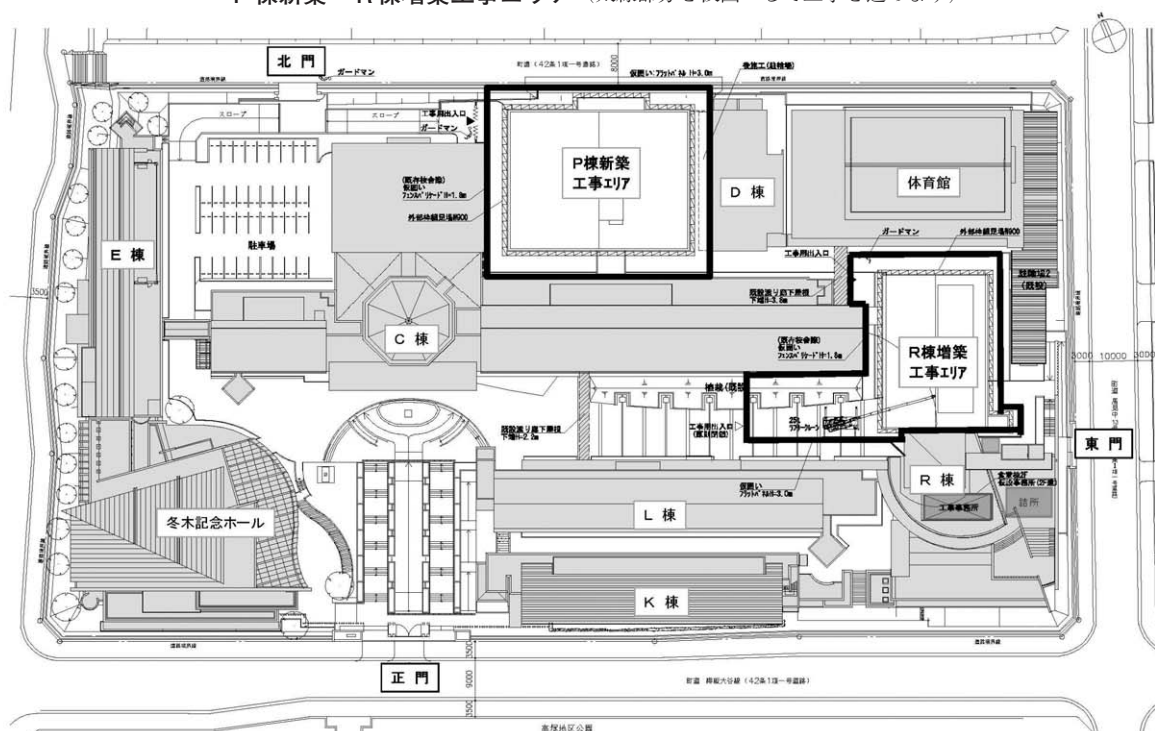
さらに高度な内容で社会に貢献

畿央大学では2013年4月に「ニューロリハビリテーション研究センター」を立ち上げました。神経科学(ニューロサイエンス)に基づくリハビリテーションは最近注目を浴びています。本研究センターは、我が国における



R棟完成予想図

P棟新築・R棟増築工事エリア (太線部分を仮囲いして工事を進めます)





P棟完成予想図

に伴い、教員にも高度な専門的知識や技能、実践的指導力、さらには総合的な人間力が要求されています。畿央大学では大学院教育学研究科を2014年4月に開設すべく準備を進めています。本研究科では、研究者と現職教員等(大学院生)の共同研究によって、理論的科学的裏付けをもった教育実践知(臨床知)を生み出したいと考えています。

量と質の充実

入学定員増と環境整備

畿央大学は健康科学と教育の分野でこれからもさらに力強く発展を続けるため、2014年度より大学院教育学研究科を開設し、また学部において4つの学科で入学定員を増加させる予定です。ただし少人数教育を重視するため、健康栄養学科では現在70名2クラス(1クラス35名)を90名3クラス(同30名)、教育学部145名4クラス(1クラス約36名)を195名6クラス(同32名)とする計画です。定員増にともない新しい校舎の建築・増築も行い、さらに充実した教育・研究環境を提供します。

定員増の構想		現 行		2014年度(構想)	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
健康科学研究科	健康科学専攻(修士)	20	40	20	40
	健康科学専攻(博士後期)	5	15	5	15
教育学研究科	現代教育専攻			10	20
健康科学部	理学療法学科	60	240	70	280
	看護医療学科	90	360	90	360
	健康栄養学科	70	280	90	360
	人間環境デザイン学科	45	180	50	200
教育学部	現代教育学科	145(5)	590	195(5)	790
助産学専攻科		10	10	10	10
合 計		445(5)	1715	540(5)	2075
()内は3年次編入で外数		定員増加数		95	360

P棟新築・R棟増築工事

夢をのせて… 安全に

7月19日にP棟新築・R棟増築工事の地鎮祭が挙行されました。地鎮祭に先立って周辺地域住民の皆様への説明会を開催、住民の皆様のご理解とご協力を得て、いよいよ本格的に工事が始まりました。現在は大型の重機が入り、基礎工事が順調に進んでいます。

今回の新增築工事とそれに伴う既設校舎の改修により、大小10室の講義室、9室のゼミ・会議室、ニューロリハビリテーション研究センターの施設などが新設され、健康栄養学科の基礎実験室、調理実習室、実習食堂、理学療法学科の運動機能実習室、人間環境デザイン学科の制作室などが増改築されることになります。これにより、収容定員増に必要な施設を満たすとともに学修環境の改善充実を実現します。

また、この間たくさんのご要望を寄せていただいていた食堂も400席分の増床を実現し、学生の自主活動の拠点

となるクラブボックスも14室増設されることになり、福利厚生等の改善充実をはかります。P棟の建設用地となったテニスコートは、第2キャンパスに新設されることになります。

工事期間中は、工事にかかわるエリアと学生が利用するエリアを極力分離し、警備員の配置等により安全を確保するとともに騒音等による授業などへの支障の発生することが無いよう十分な配慮を行って工事の進捗をはかります。10月の畿央祭のころには、新しい校舎の姿が少し見えかけているかもしれません。



P棟工事現場

畿央大学開学10周年 記念募金のご案内

愛と絆 魅力ある未来へ

我が冬木学園を私塾として教え子の願いの元に開設をして早や60数年が経過しました。その間、家政学院、高等学校、短期大学、短期大学付属幼稚園、そしてついに畿央大学と、まさに望ましい足跡を辿り、今日の成果を遂げて参りました。建学の精神である「徳をのばす・知をみがく・美をつくる」はあまねく卒業生たちの生きる力となり、社会に貢献し続けていることと存じます。

この平成25年度には畿央大学が開学10周年の記念すべき飛躍の年を迎えます。振り返りますと10年間の畿央大学の歩みには固い絆、そして尽きることの無い愛があったことに感動を覚えずにはいられません。そして今、より豊かな、魅力ある未来に向かって前進を続ける決意を固めております。

発展を続ける畿央大学そして冬木学園に、皆様方の温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

学校法人冬木学園理事長 畿央大学学長 冬木 智子

畿央大学開学10周年記念募金

目 的	畿央大学開学10周年記念事業に要する資金調達及び教育・研究・地域貢献事業の基盤確立のため
期 間	平成24年10月～平成26年3月31日
募金目標	1億円
募金方法	個人/1口 5,000円 なるべく2口以上のご協力をお願いします。 ※金額にかかわらず、1口もしくは1口未満のご寄付もありがたくお受けいたします。 法人/1口の金額は特に定めておりません。

記念募金の申込方法・税制上の優遇措置については、法人事務局総務部(担当:植村・竹本)にお問い合わせ下さい。
Tel 0745-54-1602 E-mail soumu@kio.ac.jp

メッセージ

理学療法学科
学科長
庄本 康治

保護者の皆様には日頃より理学療法学科の運営、教育にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

先日、実習中の4回生と話をしていると、「私はあまり偏差値の高い高校出身ではな

く、何とか大学に入学できました。勉強は苦手で、テストも何とか合格してきました。偏差値の高い高校出身の同級生と比べると記憶力、思考力が低く、劣等感で一杯です」と笑いながら話してくれました。ところが、この学生さんは実習では大変成長し、とても優秀であると複数の指導者から褒めて頂いています。定期テストは平均以下でしたが、講義中にとってもまじめに聴講していた事を私は思い出しました。

そこで、実習中にとっても成長したと指導者から評価されているが、何故そのような良い評価を頂いたと思っているのかを尋ねました。本人は、たまたまであると謙遜していましたが、「担当させて頂いた患者さんを最高に治すという気持ちだけは持ち続け

ることが出来た」という話を伺い、私自身が納得出来ました。不器用ですが、純粋さを持っていて、努力を惜しまない人は、不器用さを超えて必ず成長していくと痛感しました。

「中庸」に「人一たびして之れを能くすれば、己れ之れを百たびす。人十たびして之れを能くすれば、己れ之れを千たびす」という言葉があります。人が一回で出来ることを自分は百回実施してでも出来るようにする。人が十回で出来ることを自分は千回実施してでも出来るようにする、という意味ですが、この重要性を改めて教えて頂きました。このような精神、実行力を学生、教員ともに共有したいと考えています。

技術教育について

理学療法は、運動療法、物理療法、動作練習、その他の治療、そして、治療ではありませんが、患者さんを詳細に捉えていく評価から構成されます。学校の先生が学生さんを評価するというのは、学生さんの性格、態度、意欲や成績を把握していくことですが、理学療法の中にも評価という専門的業務があり、対象者を細かく把握していくことを意味しています。対象者の評価には、様々な機能（筋力、関節の動き、感覚、痛み、その他）や形態（手脚の長さ、太さ、腫れている状態、その他）を検査、測定することを含みます。

これらの評価に関する講義は、幾つかに分類して実施していますが、最初は座学として学習していきます。例えば、関節の角度を測定する意味、測定方法などについて

勉強し、筋力の測定については、筋収縮、筋力測定の理論などについても勉強します。これらの座学終了後には、実際に様々な検査、測定を健常人相手に実習していきます。座学で様々な理論を理解していても、実際に実施可能かどうかは、また違う能力が要求されることになりますが、3回生後期までには「健常人で実施できる」事を一つの目標としています。従って、実習科目では、実技試験を実施して健常人で実施可能かを確認しています。

臨床の場面で対象者に対してうまく実施するには、健常人で実施できることは必須条件ですが、さらに現場でのトレーニング、すなわち臨床実習が必要になります。理学



療法士の対象は「物」ではなく、「人」です。ので、対象者とコミュニケーションを取りながら、評価を実施していくには、これらの高いレベルの技術が必要であることはもちろんですが、高いレベルのヒューマンスキルも要求されます。

学内実習を通して基礎、臨床医学の理論理解が促進される場合もあり、講義以外の時間を使って、友人と一緒に実習して勉強している熱心な学生さんが多くいますが、このような努力の積み重ねが重要になることは言うまでもありません。

SAPS(理学療法研究会)
の全体活動

2013年6月20日(木)に学生のクラブ、SAPS (Studying About Physical therapy by Students/理学療法研究会)の全体活動が行われました！ちなみにSAPSは「サップス」と読みます。

今回は「PTごっこ」、つまり理学療法士になった気分ですまざまな検査や測定をやってみよう！ということで、1～3回生約40人が集まりました。3回生が主体となり1・2回生に教

えてあげるということで、全体の流れとしては「血圧測定」「ROM(関節可動域測定)」「MMT(徒手筋力テスト)」「腱反射」の4つの項目を、1・2回生のグループが順に教わっていく形でした。

水銀血圧計・聴診器の使い方や正確な脈拍の取り方、ゴニオメーターでの関節角度の測定の仕方、オリエンテーションの行い方、打鍵器の正しい使い方など多くのことを行いました。

今までこのような器具を見たことはあっても実際に触れる機会がなかなか無かった1・2回生にとっては、初めてその知識を知る場面や、今までの学習内容を生かす場面があり、とても興味深いものになったと思います。3回生にとっても、ほかの人に教えることで、知識・技術の再確認をする機会になりました。



(理学療法学科3回生 西山 吉堂)

メッセージ

看護医療学科
学科長
伊藤 明子



保護者の皆様には、日頃より本学の教育に深いご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。今年看護系大学は全国で217校となり、全大学の27%以上を占めるようになり

ました。日本看護系大学協議会では、「大学で看護を学ぼう！」をキャッチフレーズに全国的なアピールをしています。その理由は、人間を対象とする専門職として、科学的根拠をもって健康問題に取り組み、高度医療や質の高い生活の援助により、将来の医療モデルである患者中心の医療を実現するためです。

時々、卒業生が大学を訪問してくれ、未熟であることを自覚しつつも、経験を積み将来はスペシャリストをめざしたいと熱く語ってくれることがあり、頼もしく思います。後輩が実習施設で出会ったとき、モチベーション高く臨床で働いている先輩の姿は、何にも代え難い「学びの力」となると

思います。

9月から実習に出る3回生は、「基礎看護学実習（1年次）」での経験を振り返り、有能な技術や知識だけでは質の高い看護は提供できない、学生であっても日頃から社会人として視野を広げ、患者さん個々の考えや気持ちを大切にしようとして努力することが如何に大切であるかに気づき、人間を理解することについて深く考えています。

実習を終えひとまわり大きく成長する姿をイメージし、教員一丸となってサポートしたいと思います。

皆様のご支援ご鞭撻をお願いいたします。

五感を通して学ぶ授業への取り組み

看護医療学科の学生は3年次後期、全員が専門科目の1つである母子看護学実習で健康障害のために入院しなければならない子どもと家族（同胞を含む）を受け持ち、最善の利益を守るための看護を考え実践します。そのために、授業で2年次前期は健康な子ども、2年次後期は健康障害のある子ども、3年次前期は演習で健康障害のある子どもの看護に必要な援助技術を学びます。

しかし、すべての学生が子どもに興味・

関心をもっているわけではありません。当然、苦手意識をもつ学生もいます。子どもに対してネガティブな意識が強ければ、学内での授業や演習は受身となり、専門知識をただ国家試験対策のために丸暗記する学修法となります。この学修法では、成長・発達過程にある子どもの特徴は理解できず、受け持ち児への看護はできません。子どもの特徴を理解するためには、まず学生自身が子どもに興味・関心を持つことが大切です。実際に子どもと触れ合い、自分の五感を通して子どもを知ってもらわなければなりません。

そこで、香芝市の育児支援の一環で取り組まれている「香芝市ママつどいの広場」の事業に学生が育児支援活動の一端として参加し、広場を利用する母子と関わってもらうことを考えました。核家族化、少子化の中で子どもと触れ合う機会が少ない環境で育った学生は、どうしても子どもへの接



し方が分からない、子どもは何を考えているのか分からないから嫌など、子どもは苦手という学生の思い込みがあります。それを踏まえ、受身の授業ではなく、授業に校外教育活動を取り入れました。

学生自身が五感を通して知り得た情報を授業内容と結びつけることで、大人の自分とは違う子どもの物の見方や行動は各機能の未熟性、つまり発達している過程にあるからだということが分かる。「そういうことか！」と既習の知識と結びついたとき、学生は学ぶ楽しさを知り、子どもの理解を深めることができます。



地域看護活動論実習の紹介

地域看護活動論実習は、地域で生活している住民を対象として、病気の予防や健康の維持増進のための支援など保健師の役割について学びます。本学では、病院実習が全て終了した4年次の5～7月に、奈良県内の保健所や市町村保健センター等にて2週間の臨地実習をしています。

事前に実習市町村についての情報を収集し、現地に出向いて地域の特性を理解する「地区踏査」を行い、地域の健康課題の分析などの準備を経て実習に臨んでいます。

臨地実習では、看護の基盤である「生活と健康」の関連と「生活者」としての人々に適した支援のあり方について、乳幼児健診や家庭訪問などの保健事業を通して、栄養士などの他職種や医療・福祉との連携の必要性を学んでいます。また住民の健康教育の機会をいただき、学生はどのようにしたら

理解していただけるか、内容やパネルなどの教材を創意工夫し、実践力を高めています。この健康教育は、じかに住民の反応を感じることができ、学生の大きな学びとなっています。

それぞれの地域での実習内容が異なるため、実習終了後に実践発表会を開催し、学びを共有しています。今年は7月25日に開催し、盛んな質疑応答が行われました！



「はみがき教室」



実践発表会

メッセージ

健康栄養学科
学科長
北田 善三



保護者の皆様方には、日頃より学科の教育にご理解とご協力をたまわりお礼申し上げます。

平成15年4月に開学した本学もようやく

10周年を迎えることができました。本学科ではこの間1期生から7期生まであわせて526名の卒業生を世に送り出してきました。その卒業生達を集めて、7月7日に開学10周年学科企画を開催しました。午前は、卒業生8名から現在の仕事の様子や就職活動で苦労したことなどを話していただきました。聴講していた学部生にとってたいへん参考になる話でした。午後は、医師、看護師、理学療法士及び管理栄養士の先生方から、医療現場におけるチーム医療の大切さ、管理栄養士の役割の重要性などについて熱く語っていただきました。参加した教員、卒業生、学部生には改めて管理栄養士に求められているものの大きさが感じられた内

容でした。夕刻からは軽食を交えた情報交換会を開催し、和やかな雰囲気の中で旧交を温める卒業生の姿や卒業生にアドバイスを求める学部生などの姿を見て、10年という歴史が少しずつ伝統を築いてくれていることを実感しました。

学科として初めての企画でしたが、延べ500名が参加するという盛会ぶりに、教育に携わる者としての責任の重さを改めて認識しました。これを機会に「徳をのぼす 知をみがく 美をつくる」という冬木学園建学の精神に今一度立ち返り、新たな10年に向けて、教員一同努力していく決意です。

今後とも保護者の皆様方にはご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

国家試験対策について

去る3月17日に第27回管理栄養士国家試験が実施されました。本学では、今春に卒業した学生89名のうち85名が受験し、77名が合格しました。合格率は90.6%でした。一方、管理栄養士養成課程の新卒者の全国平均合格率は82.7%であり、昨年の全国平均91.6%から10ポイント近く低下しました。今年は難易度が高くなったと考えられ、こ

の傾向はこれからも続くと予想されます。また、既卒者を加えた全国合格率は38.5%であり、この数字は「在学中にしっかり勉強して万全の体制で卒業時の試験に臨む」ことが合格への一番の近道であることを示しています。

管理栄養士国家試験の出題範囲は大学4年間で習った専門科目ほぼすべてであり、少し過去問を勉強したくらいではとても歯が立ちません。早い時期から意識を持って勉強に取り組んでいくことがとても大切です。健康栄養学科では2回生学年末に総合対策演習Ⅰ、3回生学年末に総合対策演習Ⅱ（いずれも



研究室での自習風景

集中講義）を開講し、これらの演習を通じて国試の難易度を認識させ、危機意識を持たせます。勉強が本格化する4回生では特別演習Ⅰ（前期）および特別演習Ⅱ（後期）を開講し、学科教員が毎週講義や演習を行い、これまでに習った専門分野の内容を復習するとともに、国家試験形式の問題を解く力を身につけていきます。4回生の夏休みには、勉強が進んでいない学生を対象とし、受験対策を専門とする講師を招いてレベルに合わせた集中講義を行い、学力の底上げをめざします。また、これらの授業と並行して繰り返し模擬試験を実施し、弱点を確認するとともに、試験問題の復習を通じて学力の向上を図っています。

このような対策を通じて国試に合格する学力と気力を養いながら、全員の合格を目指して心の通った指導を続けていきたいと思っています。

管理栄養士国家試験合格率年次推移

	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回
受験者数	22,073名	23,745名	25,047名	19,923名	21,268名	20,455名
合格者数	6,968名	6,878名	8,058名	8,067名	10,480名	7,885名
全国合格率	31.6%	29.0%	32.2%	40.5%	49.3%	38.5%
管理栄養士養成課程（新卒）	80.6%	74.2%	78.7%	82.1%	91.6%	82.7%
管理栄養士養成課程（既卒）	9.4%	8.6%	14.9%	14.9%	29.1%	7.9%
栄養士養成課程（既卒）	9.0%	7.5%	10.2%	14.2%	22.9%	10.1%

畿央大学開学10周年学科企画を開催しました

7月7日に開学10周年を記念した学科企画を開催したところ、晴天にも恵まれ第1部から第3部まで延べ500名の参加がありました。

第1部の「卒業生・活動報告会」では、食品メーカー、小学校、スポーツクラブ、ドラッグストア、病院、福祉施設で働く卒業生8名から現在の仕事の様子やどのような就職活動をしたかなどを語っていただきました。聴講していた学部生にはこれからの学生生活を送るにあたって、また進路を決めるにあたってとても参考になったのではないのでしょうか。司会は、現在大阪市立の中学校で家庭科教諭として頑張っている1期生の鈴木慶一さんが担当してくれました。



第2部の「臨床栄養シンポジウム」では、まず伊賀市立上野総合市民病院長の三木先生に「がん治療における栄養サポート：悪液質制御の重要性」というテーマで講演をしていただき

ました。学部生にもよく分かるように話していただきました。

その後、岸和田市民病院の森本先生、上野総合市民病院の猪田先生、済生会御所病院の熊本先生、ハートランドしぎさんの岡田先生が、看護師、理学療法士、管理栄養士の立場から病院での栄養サポートチームの取り組み、これからの管理栄養士に求められることなどについて報告していただきました。医療現場における管理栄養士の役割が益々重要になっていることを卒業生、学部生ともども改めて実感しました。

第3部の「情報交換会」では、来賓の方々、卒業生、3回生、4回生、教職員が食事を囲みながら交流を深めました。学外実習でお世話になった先生方との久しぶりの再会を楽しむ卒業生・学部生の姿、教職員と思ひ出話に花を咲かせる卒業生の姿、卒業生に相談している学部生の姿などを見るにつけ、立派に社会人として成長した卒業生に感動を覚えるとともに、卒業生や学部生から勇気をもらうことのできた学科企画でした。



メッセージ

人間環境デザイン学科
学科長
三井田 康記



日頃から、本学の教育にご理解・ご支援を賜りありがとうございます。前期試験も終わり、夏休みを迎えるや、学内にはわかにはひっそりとしてきました。

2、3回生は後期からプロジェクトゼミがはじまります。ゼミへの配属は8月初めに決定し、ゼミによっては夏休み期間中に調査等をはじめます。インターンシップも8月半ばから9月にかけて行われます。夏休み期間中も2、3回生は暇ではなく、忙しい日々をおくることになります。

忙しいという点では4回生も同様です。卒業研究・卒業制作を本格的に進めるため

には、夏休み中に準備や調査をしておかねばならないのです。D棟2階のゼミ室では夏休み中も4回生の声が聞こえます。新学年が始まった頃は、頼りなさが残っていた4回生も、最上回生としての自覚が芽生えてきたようです。

今年度も奈良県文化会館で3月1日・2日に卒業研究展を行います。ご期待ください。必ず立派な卒業制作、卒業研究をお見せできると思います。我々教員一同、一生懸命教育活動に邁進する覚悟でございます。

プロジェクトゼミでの学び

人間環境デザイン学科では、「プロジェクトゼミ」という2回生・3回生合同のグループで課題や研究に取り組む授業を後期に行っています。

建築の設計分野のゼミでは吉野町から依頼された川のまちづくりプロジェクトへの参加や、一般公開している建築設計競技に応募するなどの活動をしします。

建築の研究分野では生活環境や住環境におけるユニバーサルデザインの調査や、子どもや高齢者の視点から住まい・まちづくりのあり方を研究します。インテリアの分野では、原寸サイズの茶室を制作したり、商業施設や店舗の内装づくりを提案します。

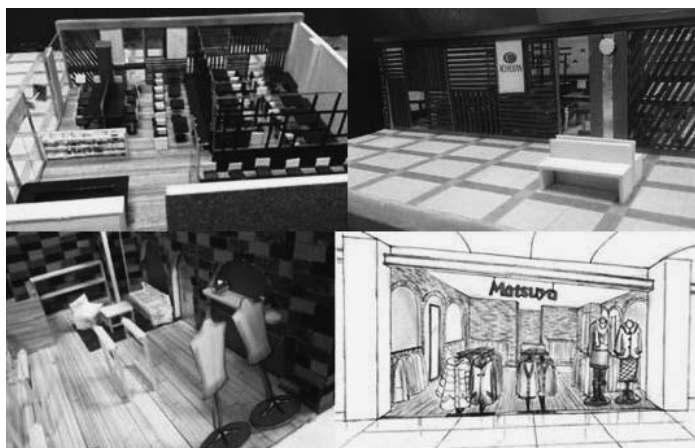
アパレルの分野では地域の小・中学校、幼稚園などに出かけて天然素材を使った染色のワークショップを実施し、また、ならまちにおける環境色彩や配色効果を高めるために寒紗を活用する研究に取り組みます。

このようにゼミの内容は人間環境デザイン学科らしく様々な分野にわたり、豊かなものとなっています。



各ゼミは、15名ほどで約半年間、一丸となって課題に励みます。例年2月にゼミごとの成果発表会が行われるのですが、2回生は3回生からたくさんの指導を受けることで成長し、3回生は2回生に教えることで知識が確かめられ、上級生としての責任感や積極性が芽生えてくるように見受けられます。

プロジェクトゼミは卒業研究にもつながることが多く、前段階としてカリキュラムに配置しています。今までゼミで蓄えられた力が4年間の集大成となる卒業研究・制作につながるのを毎年見てきました。また成長していく学生の姿を見られることを楽しみにして、後期の半年間、指導や教育に励んでまいりたいと思っています。



インテリア設計士試験に16名が合格

7月14日に第53回インテリア設計士の試験が実施され、今年度も3回生17名が受験し16名が合格しました。この試験は



2009年度から畿央大学でも実施し、この5年間でほぼ100%の合格率と大変良い実績を残しています。その理由として、人間環境デザイン学科では受験対策講座を実施し、学科試験・実技試験ともに本学科の教員が手厚く指導し、それに応えようと学生も励んでくれているからだと思っています。

7月は、各授業の課題が3つ、4つ重なり、学生たちは毎日朝早くから夜遅くまで残って課題に取り組む中でのインテリア設計士試験です。学生の疲労はわれわれ教員も感じていましたが、見事合格した姿を見て、心からおめでとうと讃えました。1名不合格ですがこの学生も実技試験は合格なので来年また、学科試験のみ受験します。来年度の受験生も教員一同心より応援しています。

メッセージ

教育学部
現代教育学科
学科長

安井 義和

畿央大学後援会の皆様には、常日頃より現代教育学科の教育・研究活動にご支援とご協力を賜り、心よりお礼を申し上げます。



大学もおかげで10周年（教育学部は8周年）を迎え、更なる充実・発展に邁進する覚悟です。昨年度の教員採用試験の結果は、残念ながらポイントが少し減少してしまいました。それを受けて、教育学部内に進路支援委員会を設け、学生が進もうとしている卒業後の進路（小学校教員、幼稚園教員、一般企業等々）が実現できるよう、教育学部教員全員が更なる努力を努めていく所存です。

小学校や公立幼稚園・保育園の教員・保育士になるためには、専門的知識・能力が必要なことは言うまでもありませんが、それ以外に大きなウエートを占めるものとし

て、大学入学までに習得しているはずの能力・知識です。これらは大学における授業等でカバーできないことも多々あります。そこで、この後期から、高校までの習得すべき内容を教員が学生とゼミ形式などで習得するようにする予定です。

これらは大学の単位にはなりません、学生の就職のみならず社会人としての教養には大きなサポートになると考えています。学部教員のみならず、全教職員が一丸となって対応は致しますが、保護者の皆様のご理解と、お子様の勉学状況を把握していただき、学生のサポートを今まで同様、厳しく温かくお願い致します。

夢に向かって!!

教採を前に、対策講座の中で、自分が教員を目指す理由を4回生の学生が語ります。圧倒的に多いのが、「小学校のときの担任の先生のようになりたいと思った」など、お世話になった先生への憧れです。また、「子どもたちの笑顔に出会って」など、中学校での職場体験がきっかけとなった学生も少なくありません。

幼稚園・保育所の先生、小・中学校、高等学校の先生。もちろん、教員だけでなく、自分を生かせる仕事に就くことを夢とし、



頑張っている学生が大勢います。本学は、学生の夢の実現を、応援し続けています。

平成24年度は、小学校では、大阪府19名(23年度17名)、奈良県12名(11名)が、最終合格を手に入れました。特に、奈良県は、年々、合格者が増えています。ただ、小学校全体の合格率は46.8%と、23年度に比べて苦戦となりました。今年度は、その巻き返しに挑みます。

養護教諭は、4名(23年度6名)が合格しました。特に、奈良県では、初の合格者とともに、卒業生2名も合格してくれましたので、この4月からは3名の畿央生が奈良県の養護教諭になりました。

さらに、公立幼稚園教諭・保育士は、18名(23年度7名)が合格し、夢を実現しました。

いよいよ5期生の番です。例年のように、教職支援センターに多くの学生が訪れてい



ます。

今年は、「〇〇日(〇曜日)〇限目 L204

〇〇先生の面接・討論指導」と書かれた紙が何枚も教職支援センターのホワイトボードに貼られ、学生は自分の名前を書き込みます。教育学部の教員による面接・討論、模擬授業・保育の指導ですが、今年は「できるだけ多くの先生に見ていただこう」という趣旨で進めています。学生は、いろいろな先生から、自分のよいところや課題の指摘を受けながら、日に日にたくましくなっています。

もちろん、教員になってからが新たなスタートです。教育の道を極めるために、畿央生の活躍を期待しています。

開学10周年記念「教育学部シンポジウム」には多数の学生も参加しました

開学10周年記念事業の一環として、6月29日(土)に教育学部主催で「21世紀を生き抜く子どもの学力形成」を開催し、この分野の第一線で活躍中の、安彦忠彦名古屋大学名誉教授、松下佳代京都大学教授、青木聡学研エデュケーショナル教務部長、西端律子本学教授から貴重な提言をいただきました。教育関係者や一般の方々だけでなく本学教育学部の学生も多数参加し、参加者から好評のシンポジウムとなりました。

学生からも大層多くの感想が寄せられ、「学力を支える人格形



成の大切さがよくわかった」「自分の中身が変わるようなシンポジウムだった」「刺激的で貴重な時間だった」「難しかったが視野が広がった」「学力の向上を考えることがいかに複雑で重要視すべきか改めて感じた」といった意見の一端からも、今後につながる意義深い刺激を受けたことが伺われました。様々な考え方に触れて力をつけてほしい、と願っています。

担任からのメッセージ

畿央大学の担任制度は、教員が担任として学生との人格的な接触をはかり、学生生活全般の指導を行うことによって、建学の精神を身につけた有為な人材を養成することを目的としています。

健康科学部は学科ごとに2～4クラスを編成し各クラスに1名、教育学部はコースごとに1～4名の担任を置くことにしています。健康科学部4回生、教育学部3・4回生は卒業研究の指導教員が

ゼミ担任となります。

担任の役割は、「学習指導」「生活指導」「進路・就職指導」「学生の危機管理」が主なものですが、学生一人ひとりの状況を系統的に把握していくために全学年において年2回の全員面談を実施しています。また、学生の求めに応じ、また必要性が生じた時には随時に面談を行うこととしています。

健康科学部1～3回生担任、教育学部1・2回生担任から、担当されている学生の様子などについて保護者の方へのメッセージを寄せていただきました。



理学療法学科1回生担任

福本 貴彦

緊張の面持ちで入学式を迎えた新入生も、講義や部活・サークルなどの学生生活を送り、前期試験の時期になりました。

入学式後のオリエンテーションでは、私どもの話に対しては傾聴と言うには程遠い状態でしたが、8月に行われる実習に対するオリエンテーションでは、良い意味での緊張感があり、まさに私どもの話を傾聴しておりました。高校生から大学生になったようです。次は大学生から畿央大学生になってくれることを望みます。



理学療法学科1回生担任

瓜谷 大輔

授業を担当していないので主に面談を通じての印象ですが、まだまだ受動的な学生が多くみられます。勉強はもちろん、大学から発信される各種の情報など、自ら主体的に動いてキャッチする姿勢を身に付けて欲しいと思います。そして主体性を大切にしながらもご家族とご子息とのコミュニケーションは密に取っていただきたいです。学生達の秘めた可能性が4年後に開花できるように取り組んでまいります。



理学療法学科2回生担任

峯松 亮

学習目標として、すべての学生が単位を落とさないことを挙げていますが、中には成績を上げる、「秀」を1つでも多く取るなど、単位取得だけでなく、成績内容に重点を置く目標を挙げている学生もいます。このことは、現在の学習の大切さや意義を理解し、現在、そして将来の自分を高めたいという意欲の現れだと思います。また、部活動、サークル、アルバイト等を通して、大学内外のつながりを大切にしようとする学生も多く見受けられ、後輩もできて数ヶ月ですが、先輩としての自覚も感じられます。一方、勉強や大学生活に不安を抱えている学生もいます。人間は誰もが大人になり不安や不満を抱えているものだと思います。その状況をプラスに打破するには、大学だけではなく、最も身近な保護者の皆様のサポートも必要と思います。また、将来の目標を明確にすることも1つの方法と考えます。今以上に学生が有意義かつ快適な学生生活を送れますよう、身体的・精神的健康を維持できまよう、重ねてご協力をお願いいたく存じます。



理学療法学科2回生担任

高取 克彦

2回生2組の担任をさせて頂いております高取です。個人面談をさせて頂いた印象では、2回生になり専門科目も増え、「理学療法士を目指す」というクラス全体のモチベーションが上がってきている様に感じます。一方で、様々な悩みを抱えながら学生生活を過ごしている学生も少なくないように感じます。学業だけでなく、できるだけ心理的なサポートも含めて対応していければと考えています。今後ともよろしくお願い致します。



理学療法学科3回生担任

冷水 誠

3回生となり、授業がより専門的になると同時に、学外長期実習が目の前に迫っていることなどから「不安」を感じる学生が多いような気がします。しかし、学生達は将来の目標に向かって、この不安に対し「元氣塾」などを通して努力（勉強）している様子が見受けられます。ただ、なかにはこの不安が強くなり、前に進む努力に繋がっていない学生も見受けられます。20歳を過ぎた3回生といえども、将来の目標とその不安への対処など、まだまだ自己コントロールが難しい子供達であると感じております。「もういい大人だから」ではなく、将来の目標、そして「良い大人」に向けて厳しく愛情を持って教育していきたいと思いますので、ご理解とご協力の程よろしくお願い致します。



理学療法学科3回生担任

松本 大輔

2回生後期での検査・測定実習や元氣塾（月・金曜日）の参加により、試験前の詰め込みだけでは実習には対応できないと感じ、大学に遅くまで残ったり、土日も復習やレポートのために勉強に来たりしている学生が増えています。その一方で、3、4年次の臨床実習への不安や焦りもあり、頑張りすぎて体調を崩したり、疲れが出たりする学生も少なくありません。保護者の方には、食事や睡眠などの生活や体調面だけでなく、心理面でのサポートとして、一人で考えすぎないように学生本人の気持ちを聴く機会を作っていただければと思います。



看護医療学科1回生担任

福森 貢

前期面談を終えての印象は、ほとんどの学生は友だちをつくりクラブやサークルに入って学生生活を楽しんでいるという感じです。ただ、入学以前とは生活リズムがちがうためそのあたりは試行錯誤しているようで不安定です。特に心配しているのはアルバイトのことで、頑張りばそれだけ頼りきられて優先順位を意識することです。今やるべきことの優先順位を意識してしっかりと自己管理できるように、そして夢に描いた看護師等になることができるように期待を込めて見守っていききたいと思います。



看護医療学科1回生担任

坂田 進

4ヶ月経ち、大学生活にすっかり慣れてきたように感じます。ほとんどの学生が、毎日、授業に出席して真摯に勉学に取り組んでいます。また、クラブ・サークル活動などに積極的に参加しており、有意義な時間を過ごしています。個人面談では、毎日の自己学習の大切さを指導しました。また、アルバイトの頻度が多い場合については、アルバイトを控えるように指導しました。建学の精神である「徳をのぼす、知をみがく、美をつくる」を身につけて、さまざまな経験を介して大きく成長することを願っています。



看護医療学科1回生担任

弓場 紀子

宿泊研修や面談を終えての印象は、<非常に個性豊か><個人の意志を貫く強さをもっている>です。そのため、クラスとしてまとめるよりも個人が自分のもつ徳に磨きをかけ、専門職としての学びをしっかりとしてくれたら4年後は自立した対象の思いに寄り添える素敵な専門職者になってくれるだろうと今から期待しています。その反面、学習時間に比べてアルバイトの時間が長いことや、課題をこなすだけの学習のみで「分かる」学習までできていない者が多い現状は改善していかなければならないと思っています。大学生活にも慣れた後期からは、分かる学習中心の規則正しい生活を送ってほしいと願います。保護者の方のご協力をよろしくお願い致します。



看護医療学科1回生担任

對中 百合

5月中旬に初めての面談をしました。皆、大学生活にも慣れ、友達もたくさんできたという明るい表情で話してくれました。大学での学習においては個々に不安がある様子でしたが、「もっと学習しないといけない。」と学習の必要性を感じ、行動すべきだと考えていました。学生自身の考えを実践できるようサポートしていきたいと考えております。学生の大学生活における悩みが相談できる環境を提供したいと考えております。保護者の方には、健康面や学習環境などのサポートをお願いしたいと思います。どうか温かい支援をよろしくお願い致します。



看護医療学科2回生担任

神戸 美輪子

例年なら面談の約束をすっぽかされたこともあったのですが、2回生になって成長したなと感じました。また4月に看護師国家試験に向けた模擬試験があり、学内順位や全国順位が出たことで刺激になったのか、自分でちゃんと学習しなければいけないという声が聞かれました。自覚があっても行動している人はほとんどいないという状況もありましたが、今後すべきか、今しかできない体験も大事にして、学習面での自覚を実行に移していってほしいと思います。



看護医療学科2回生担任

松本 泉美

2回生になり看護専門分野の科目が加わり、授業時間以外でグループワークや課題が増え、時間の使い方が一層重要であることを実感してきています。また注射などの診療技術が始まり、看護師らしくなってきたことに嬉しさを感じている学生がいる反面、今後自分にできるのか不安に感じている学生もいます。保健師など将来の進路を見据えて科目履修をしていく段階となりますので、ご家庭でも本人の意思を確認してのご支援をお願いします。



看護医療学科2回生担任

南部 登志江

2回生になり、授業内容がより濃くなったことやレポート課題が増えたことで、授業中に私語や他のことをしている学生が見られました。看護師・保健師・養護教諭・助産学

専攻進学と希望も持っている時期ですが、前期の成績が少し心配です。しかし1年次後期の実習での成長や学生生活の充実で、どの学生の眸も輝いています。このまま意欲と体調を維持して後期も乗り切ってほしいです。



看護医療学科2 回生担任

須藤 聖子

多くの学生が1回生の成績では満足しておらず、今の学習時間を増やそうと努力していることが伺えました。しかし、現状は課題に追われる毎日、その課題をただこなすだけになっているようです。課題が今後の学習に活かされることをわかりやすく解説し、サポートしていきたいと思います。学生がいつでも相談できる環境を提供したいと思います。ご家庭でもどうか温かいご支援をお願い致します。



看護医療学科3 回生担任

河野 由美

学年が上がるに伴い専門的な勉強が多くなり、予習や復習に追われ時間が足りないとい多くの学生さんが面談で述べておられました。大変と言いつつも、専門職になるために目を輝かせて一生懸命勉学に励んでいる姿をとて頼もしく感じています。いよいよ後期から領域別の臨地実習が開始になりますが、慣れない環境下での長時間の実習は不安やストレスを高めることが推察されます。ご家庭では、健康面へのご配慮や心と体への栄養補給をお願いできれば有難く存じます。



看護医療学科3 回生担任

小林 智子

専門科目の学習に必死に取り組む一方で、課外活動等にも積極的に参加し、その中で中心的役割を担うなど、頼もしく成長していると感じています。学習の方法は自分のスタイルがほぼ確立しているようですが、国家試験も視野に入れ、いま一度、学習時間の確保に努めてほしいと思います。後期からはいよいよ臨地実習が始まります。身体的な疲労だけでなく、思うように進まず、悩み、苦しいことも多いと思います。ぜひ温かい励まし・ご支援をお願いいたします。



看護医療学科3 回生担任

乾 富士男

後期からの実習を前に適度な緊張感を持ってきている印象でした。学習に関しては、少し気になったことがあります。教科書に指定されている以外の専門書を購入したかと全員に尋ねたところ、購入したことがある学生が一人もいませんでした。もちろん、図書館やインターネットなど知識を得る方法は多様化しています。しかし、今後専門家として活躍していくためには、与えられたものだけをこなすのではなく、自ら学ぼうとする姿勢が不可欠ではないかと思います。その意味でも、専門書を購入する楽しさを理解してもらいたいものだと感じました。



看護医療学科3 回生担任

堀内 美由紀

実習開始を目前に集中力を高めています。集中力を持続させる力もついてきました。サークル活動などの時間は極端に減っていますが、まだかなりの時間をアルバイトに費やしている人もあります。今以上の経済的負担を保護者にかけたくないという発言は理解しますが、より充実した学生生活を送るために時間の使い方を計画してほしいです。実習が始まると健康管理がこれまで以上に大切です。栄養や睡眠など保護者の皆様にも時々声をかけていただくなど、気にかけていただけますようお願いいたします。



健康栄養学科1 回生担任

岩城 啓子

クラス全体の雰囲気は、入学当初の緊張もほぐれ楽しく明るくなってきており、後期の大学祭なども期待してい

ます。一方勉学面では、高校で化学や情報などを選択しなかった人にはやや難しいと感じられたようです。

前期科目は国家試験のための基礎科目ですから、苦手意識を早めに克服するように、担任としてもバックアップしていきたいと思います。



健康栄養学科1 回生担任

金内 雅夫

授業内容を十分に咀嚼するため、予習復習をしっかりしてほしいと思います。アルバイトについては一部に過重であるような方も見受けまますので、健康や学習面に支障のないような頻度にしていただきたいと存じます。関心がないのか時間がないのかはともかく、奉仕活動の経験者が少なかったのは残念です。1回生のうちは、まだ時間的な余裕もあることでしょうから、ぜひ実践を心掛けてください。担任としての心得は、自分を磨き人を育て、高度の道徳的基準を守れることを奨励し、かつ奉仕の理念を鼓吹しこれを実践することに尽きるとしています。学生諸君はこれからの世代、まさに新世代であり、教育はもとより、健康、人間の価値、自己開発など基本的二ーズを高めるべく、保護者の方々にもご支援をお願いします。



健康栄養学科2 回生担任

浅野 恭代

2回生になって、ますます大学が楽しいという学生がほとんどです。勉強はキツイですが、クラブやサークルなどそれぞれ楽しんで学生生活を送っています。2回生が一番遊べる学年だからしっかりやりたいことをやりましようと言ってます。将来の進路は少し栄養士のことが分かってくるという迷いが出てくる時期です。授業を通して栄養士の仕事を理解し、将来の進路を考えてくれたらと思っています。



健康栄養学科2 回生担任

林 京子

2回生になり、大学にも慣れ、各自がクラブ、ボランティア、趣味などで色々な方面で学生生活を有意義に過ごしており、担任としても喜んでます。但し、2回生後期から3回生においては、専門教科・実習が増え、授業以外にもレポートや、事前学習などに割く時間がかなり多くなってきます。学生自身も大変ですが、是非、管理栄養士免許取得の目標に向かっての、ご家族のバックアップをお願いしたいと思います。



健康栄養学科3 回生担任

高野 康夫

早いもので学生たちも入学以来2年半を過ぎようとしています。現在は学内外の実習関連で多忙を極めています。来年早々には就職活動が始まり、また卒業を迎える年になります。これから家の方でも人生の先輩としてお子さんの将来像について十分話し合いの場を設けて欲しいと思います。勿論、大学は全面的にバックアップして相談に乗って行きます。



健康栄養学科3 回生担任

喜多 雅子

3回生になって、授業時間以外にグループで集まって授業準備をするということが多くなり、その分みんな仲良くなり、学生はクラスが楽しいと言っております。一方、就職活動や国家試験対策では不安を感じている学生も多く、特に就職では病院や栄養教諭、公務員など難しいと聞いただけで進路変更してしまいがちです。ご家族のご支援もいただき希望通りの進路に進んでいけるよう支援していきたいと思っています。

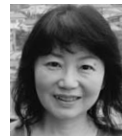


人間環境デザイン学科1 回生担任

中山 順

私が担任をさせていただいている学生は26名で、面談で感じたことは、自分の進路をしっかりと持っている人が多かったということです。半数以上が自分の進路を決めていました。反面、数は少ないですが、自分の進路は

全く見えない人もいました。前者については、その熱意が継続できるように、後者については、何とか自分の方向性を見つけ出せるように見守っていきたいと考えます。



人間環境デザイン学科1 回生担任

村田 浩子

入学式からはよいもので4ヶ月が経ちました。学生さん達は大学に馴染み、キャンパスライフを楽しんでいるようです。しかし5～6月に実施した学生面談では、クラスの学生さんが、将来の夢への期待と共に不安な気持ちがあることを知りました。「若い子なりの悩み……大いに結構!」と答えるとみんなほっとした表情をします。4年間の大学生活で、専門知識を学ぶことはもちろんのことですが、彼らといっしょに悩み、考え、そして、彼らの成長を見守っていききたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。



人間環境デザイン学科2 回生担任

加藤 信喜

畿央の学生は素直で健全なキャンパスライフを送っていると改めて確認しました。1回生時、悩ましい悩みはなかったように思いますが、2回生になり進路について悩んでいる人が多くみられました。将来について、自分自身の未来を描き始めていると解釈すれば結構な悩みとポジティブにとらえたい。気になることはアルバイトが主になって学業がおろそかになっている学生です。本末転倒、大学生はもっと大きく学んでほしいと願います。



人間環境デザイン学科2 回生担任

齋藤 功子

単位の取得状況は概ね良好です。2回生になってコース選択に悩む学生が見られます。特に、建築・まちづくりコースでは設計演習が始まって適性の有無に悩む学生がいます。建築の仕事は幅広いので、単位を落とされるまではくらいついていきなさいと指導しています。授業をご担当の他の先生方から、今年の2回生は真面目で優秀だと褒めていただいて、担任としても鼻が高いです。仲がよい学年なので、少し騒がしい所も見受けられます。そろそろ落ち着いて、しっかり授業に臨んでほしいと思います。



人間環境デザイン学科3 回生担任

藤井 豊史

みな、とても素直で良い子たちなのですが、迫力の無さが気になります。「あまり難しいことは解る苦がない」と自分に限界を設け理解を放棄する、「とらなくても卒業できるから負担の多いゼミは避けよう」と楽な道を選ぶ、等々です。若い時くらい、苦しくとも、また、結果は報われない可能性が高くとも、より高みをめざす闘争心を持って欲しいと思っています。



人間環境デザイン学科3 回生担任

東 実千代

担任している学生30名のうち半数以上が、この夏休みはインターンシップに参加します。職業体験を通じて一層成長し、今後の学生生活に対する意識も変化することでしょう。後期からはプロジェクトゼミが始まり、2回生を牽引する立場として、自主的に考え、行動する力も身につけてくれることと期待しています。学生生活の充実を願い、支援して参りますので、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。



現代教育学科
学校教育コース1 回生担任
(1回生学校教育コース代表)

西尾 正寛

将来への希望をしっかりと語ることができた面談でした。ただ、多くの免許・資格を取るだけに「あれも、これも」と目標が定まらないでいる学生は気になります。迷っているからこそ、学外に出

て子どもと接することができる学校ボランティアや2回生で履修するインターンシップ等に積極的に参加し「何のためにその免許・資格を取得するのか」「いつまでに決めるのか」の見通しをもち、計画的な学生生活を送って欲しいと考えています。



現代教育学科
学校教育コース1回生担任
衛藤 晶子

90分の授業や自分で時間割を作成するなど、戸惑うことが多かったようですが、「小学校の先生になりたい」という強い意志をもって入学された学生さんが多く、ボランティア活動やサークル・クラブに参加し、将来の夢に一步でも近づこうとしている姿に頼もしさを感じています。大学での授業は、聞くだけではなく、自ら考え、積極的に行動していくことが望まれます。自律した学生になれるよう支援していきたいと思います。友達関係や学習・進路で心配事や悩みがあるときには、遠慮せずに教員に相談したり、大学内の相談室等を利用したりするように伝えていきます。ご家庭におかれましては、毎日の声かけや温かい見守りをお願いしたいと思います。保護者の皆様と同じ方向を向いて、学生さんを支えていきたいと思っております。何か気づかれたことがありましたら、ご相談いただければ幸いです。



現代教育学科
学校教育コース1回生担任
Randy Muth

本校に入学して頂いて、前期が無事に終わりました。今年の一回生は団結心が強く、グループ活動を非常に円滑に行っています。また、多くの学生はやりたいことを明確に示しており、いろいろ目標を果たしたいという強い意思を見せています。多様な資格を取得したいという学生が多く、この大志を抱くことは非常に良いことですが、取得するため大変さを学生が理解しているか、また、せっかくの大学生の生活を充実できず、大切な時間を逃さないかと私は教員として心配しています。大学生になったお子様は立派な大人及び社会人になるための重要な最後の段階に入っています。お子様がここまで成長できたのは保護者の愛情や努力のためであり、さらに今、またその愛情がお子様にとって必要とされています。お子様の大学での活動に対してしっかり関心を持って頂きたいと思えます。



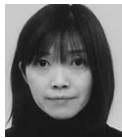
現代教育学科
学校教育コース1回生担任
八木 義仁

早くも入学して4ヶ月が経ちました。現代教育学科学校教育コース1回生4組は、楽しい学生生活を送っているようです。面談の際にも、進路希望やサークルについてなど、笑顔で話してくれました。しかし、大学での第一の目的は学修することですから、積極的に授業に参加し、個を磨くことを忘れてはなりません。夢を抱いて入った大学ですから、地道に自分磨きの旅を歩んでほしいと思います。



現代教育学科
幼児教育コース1回生担任
(1回生担任代表・幼児教育コース代表)
粕井 みづほ

幼児教育コースは明るく元気な学生が多く、ほとんどの人がクラブやサークルに参加し、充実した学生生活を送っているようです。大学で初めての試験はどんなものだろう、どのように勉強すればよいのだろうと心配する人が多かったですが、乗り切れたようです。最近、ごく一部ですが、遅刻・欠席しがちな人が出てきています。保護者の方々には生活リズムが崩れていないか、きちんと遅れずに家を出ているかを見守って下されば有難いです。



現代教育学科
幼児教育コース1回生担任
横山 朋子

明確な目標をもって入学した学生が多く、意欲的に授業を受けたり、友達

と一緒にボランティア、クラブ・サークル活動に積極的に参加したりなど、充実した学生生活を送っている様子がみられました。その一方で、授業の予習・復習の時間があまり取れない、生活のリズムが乱れてきたなどの声も聞かれました。学内で姿を見かけた時は積極的に声をかけるよう心がけていますが、ご家庭でも健康管理、学習習慣について気にかけていただければ幸いです。



現代教育学科
教育心理学コース1回生担任
(1回生教育心理学コース代表)

岡本 啓子

入学して少し慣れてきたようです。廊下を友人と歩く姿が「もう大学生だ・・・」と誇らしげに感じられます。私の顔をみて、ニコッと微笑みをくれ、素直で優しさを持ち備えている一回生です。授業以外の活動では、サークルに入って活発に活動をしている人、ボランティア活動で学校の健康診断の補助として参加し、未来の自分を思い描いた人もいます。担任として、学問を学ぶときは妥協せず前に進めるよう、支えようと思います。



現代教育学科
教育心理学コース1回生担任
細越 寛樹

高校から大学に入り、自分で時間割を作ることや、様々なスタイルの授業に戸惑いながらも、多くの方が新しい友達との出会いやサークル活動などを楽しみ始めているようです。ぜひ積極的に自分たちの世界を広げてもらえたら嬉しいのです。その反面、課題にサークルにアルバイトに友達つきあいに、と多忙になって睡眠時間の確保もなかなか難しい場合があるようです。無理が出てきていないか、ご家庭で気に掛けてもらえたらありがたいです。



現代教育学科
学校教育コース2回生担任
(2回生学校教育コース代表)

島 恒生

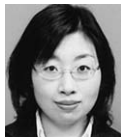
2回生は、自分の進路についてしっかりと、準備をする段階です。教員採用試験はまだまだ先だと思いがちです。しかし、3回生になると、採用試験の中でも、いよいよ教職に関する専門の勉強に入ります。したがって、2回生で、一般教養、つまり国語や社会、数学、理科などを固めることがとても重要です。

自分の「夢」は、もう「進路」となっています。大学の授業とともに、採用試験に向けて確実に階段を一段一段、上っていくことが大切です。保護者の皆さんの応援も、どうぞよろしくお願いします。



現代教育学科
学校教育コース2回生担任
深田 将揮

学生生活にも慣れ、授業、ボランティア、またサークル・クラブ活動、アルバイトを頑張っている意欲のある学生が多いです。夢を持ち、実現に向かって頑張っているとどんな事でも前向きに、また元気でいれるのだと学生から教えてもらっています。授業や学内で言えば、積極的に声掛けをし、学生の表情や様子の変化には敏感に反応しております。ですが、もしご家庭で気になるようなことがございましたらご相談いただければと思います。



現代教育学科
学校教育コース2回生担任
宮村 裕子

2回生として充実した毎日を送っている様子です。自身の苦手分野を自覚して、具体的な目標を掲げて努力している学生が多くみられます(学習時間の確保、学校インターンシップへの積極的参加、英語力向上、など)。その反面、学生生活への慣れからか、時間の使い方や生活リズム面を反省する声も聞かれます。2回生時は、様々な学びを通じて興味や関心を広げ、将来への意欲を高め、進路に向けて考えを深めるチャンス。そのために限られた時間を有効に使うよう面談では助言しています。



現代教育学科
幼児教育コース2回生担任
(2回生担任代表)

西端 律子

2回生になると、保育実習、来年度の幼稚園教育実習など、進路に直接関わることが増えてきます。日頃の勉強はもちろんのこと、実習に備えて、さまざまに子どもたちとふれあいやコミュニケーションの大切さを認識していただきたいと思います。ご家庭でも、できるだけ言葉を交わしていただき、相手の意図を汲み取ること、自分の意思を伝えること、相互に共感することなど練習していただければ幸いです。



現代教育学科
幼児教育コース2回生担任
池田 雅代

5月の学生面談では、みんなそれぞれに自分の夢に向かって進んでいる様子。

遠方からの通学生はクラブ活動やボランティア活動はなかなか難しいですが、そうでなければそれぞれ興味あるものの活動に参加をして学生同士の親睦も深めている様子です。

学習については総じて1回生の定期試験での準備不足だったり、普段の勉強不足について反省がみられたので、今年度前期の試験結果にどう反映されているか注目したいところです。



現代教育学科
幼児教育コース2回生担任
(2回生幼児教育コース代表)

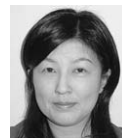
大城 愛子

多くの学生が大学生活を楽しんでいることを嬉しく思います。幼児教育コース2回生はこの夏に保育実習に行くことになっており、初めての実習に少し不安を感じながらも自覚をもって臨む姿を頼もしく感じています。実習や免許・資格について理解が進んだことから、昨年度以上に幼・保・小の3つの免許・資格を取るべきか真剣に悩んでいる学生もいますので、大学での学習状況や実習の様子を見守りつつ、支援していきたいと思います。保護者の皆様には、今後も温かい見守りとご支援をお願いいたします。



現代教育学科
教育心理学コース2回生担任
三好 環

進路について、自分の進路に向かってまっすぐに努力中、希望進路は決めたもののそれに向かうエネルギーが不完全燃焼中、現在迷い中、の3つの姿が見られます。自分の進路を決めることは 青年期の「大仕事」ですが、しっかり取り組み、納得できる進路選択が出来るよう、保護者の皆様や大学の各部署・教員と共に支えていきたいと思えます。ご家庭でも迷いや悩みの聞き役になり、自分で決定できるよう、暖かく見守ってあげてください。



現代教育学科
教育心理学コース2回生担任
(2回生教育心理学コース代表)

古川 恵美

養護教諭をめざしている人が多く、優しい穏やかなタイプの人が大半です。優しくして、周囲の人に合わせようとして疲れていることもあるようです。養護教諭は、人の話をじっくり聞くことができ、体力があり、そして人をつなげることができればなりません。それには、広く深い知識が必要です。多くのことを学んでいただきたいと思っています。時には厳しいことも言いますので、ご家庭のフォローをいただきながら、優しくたくましく元気な先生を育てていきたいです。

よろしくお願いいたします。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

今年度も保護者アンケートを実施させていただきました。多数の保護者の皆さまのご協力をいただきありがとうございました。今年度のアンケート結果の特徴と皆さまからお寄せいただいた質問のいくつかをまとめさせていただきます。

建学の精神と担任制

「畿央大学の建学の精神（徳をのばす、知をみがく、美をつくる）をご存じですか」という設問に対して、昨年を2ポイント上まわる84%の方が「知っている」と回答していただいています（図1）。これは一昨年度までの60%台という結果に比べて大きな変化となっています。また、「担任制」についても、昨年を2ポイント上まわって86%の方が知っているという回答していただきました（図2）。

人間教育を基盤とする建学の精神とその要となっている担任制を多くの保護者の方に認識していただいていることに非常に心強く感じ、一層の教育活動の充実へ決意を新たにしています。

学生生活充実に向けて

「畿央大学のことが家庭で話題になりますか」という設問に対して、「よく話題になる」「時々話題になる」と回答された方は、昨年同レベルの86.1%に上りました（図3）。また、「学生は畿央大学での生活に充実感を持っていますか」という設問についても「強くそう思う」「ややそう思う」と回答された方の合計が昨年同様91.3%と、非常に高い割合になりました（図4）。これらは、学生自身の自主性を尊重しながら、保護者の皆様と大学が連携をはかっていける基盤があることを示していると思われる。

一方、「畿央大学が充実すべき点は何かと思われるか」という設問に対しての回答は、「専門性を身につけさせる教育」「キャリア支援」「マナー、社会常識を重視した教育」「進路を考えさせるキャリア教育」など、昨年同様に専門教育とともに社会に巣立つために必要な教育・支援に多くの要望が寄せられました。

大学と保護者がより高い連携をはかり、主人公である学生一人ひとりが豊かな学生生活を通して、大きく成長し、夢を確実に実現させてくれるよう、教育・研究、自主活動、そしてキャリア形成の支援をより充実させることができるよう、教職員一同いっそう努力していかなければならないと感じているところです。

Q 畿央大学は、非常に人気のある大学とっていますが、まだ歴史が浅いため、ほとんど名前を知られていないようです。その為、企業等から十分な求人がなく、学生本人が自力で探さなくてはならないのではないかと心配しています。

A 保護者の皆さんの時代と比べ、就職の仕組みも大きく変わりました。畿央大学の学生の希望進路は、企業と病院、教職が約1/3ずつです。企業をめざす学生は約150名で、それに対して学校に届く求人は1,000件を超えています。また、近年はWeb上でのエントリーが多く、これだけでも数千件の求人があります。また、キャリアセンターでは、年間に1,000件の事業所訪問を行って求人の開拓をするとともに、新卒応援ハローワークと連携しての支援など、多角的なサポートを行なっています。畿央大学は、学生とキャリアセンター、担任との関係がとて充実しています。学生本人が積極的にキャリアセンターを活用していただければ、就職に関して特に不安を感じていただくこともないかと思われます。

Q 教育の現場は大変です。それを身をもって感じとり、その上で自覚的に教職をめざすために、小学校や幼稚園に授業のサポーターとしてボランティアにいくというような取り組みをすすめて欲しいと思います。

A 教育学部では、主に2回生に学校インターンシップを選択科目として開設しています。また、学生が学校現場に接して実践的な学びができるよう、時間割上も一定の配慮をしています。今年度は、連携協定を結んでいる教育委員会のスクールサポートに参加している学生も合わせると、2回生の半数以上が現場での学びに取り組んでいます。

Q 様々な職場で活躍している先輩や専門職の方の話を聴くとか、職場体験をするというような学校内だけでの教育にならない工夫をして、社会人の厳しさを学ばせてほしい。

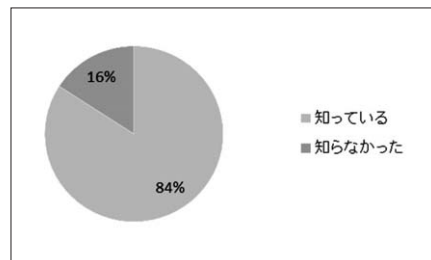
A 畿央大学では、「キャリア形成セミナー」という科目で、先輩や現場のプロの声を聴く機会を設けるとともに学外実習やインターンシップ、地域と連携した授業や取り組みなど学生がめざす夢の現場に接する学びを重視しています。また、今年は、10周年の学科企画でも卒業生を迎えてのシンポジウムを開催するなど、様々な機会をとらえて、学外に学ぶ仕組みづくりを進

めています。

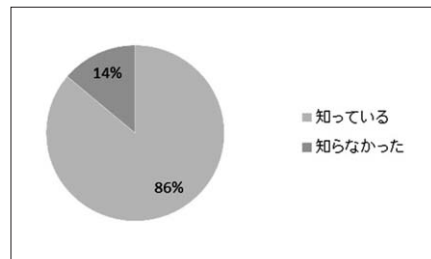
Q 大学にWi-Fiの環境がないので不便だと子供が言っていますが。

A 昨年度までは、図書館と食堂棟のみで無線LANが使用できる状況でしたが、今年度よりホール棟のラウンジ、ギャラリー、各講義室へと増設しています。今後は接続数の増加への対応とあわせて更なる増設も進める予定です。畿央大学では、情報機器による学修の機会の増加にすばやく対応するための施設設備の改善充実を進めています。

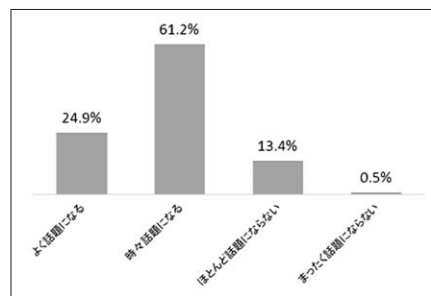
（図1）畿央大学の建学の精神をご存じですか



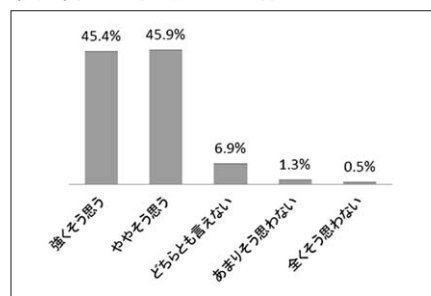
（図2）畿央大学の担任制をご存知ですか



（図3）家庭で大学のことが話題になりますか



（図4）学生は大学生生活に充実感を持っていますか



畿央大学ホームページをご覧ください!!

保護者アンケートによると畿央大学のホームページをご覧いただいているのは、「よく見ている」と「時々見ている」を合わせても19.9%という数字でした。とても残念な結果です。畿央大学ホームページは今年にリニューアルし、大学の内容を余すところなくお伝えしています。また、「KIO Smile Blog」は、学生たちのクラブ・サークルや畿央祭などの自主活動から各学科の授業や短期語学留学などの学びの様子、学生広報スタッフによる学生目線の大学紹介など学生の活発な学びを次々と紹介しています。また、「KIO キャリアナビ」では、就活支援や教職支援の状況、夢をかなえた学生の就活レポートなど就職にかかわる学生の姿を紹介しています。これらは、保護者の皆様にとって、本学の学生の様子を知っていただく絶好のツールです。ぜひご覧ください。

リニューアル

畿央大学

検索

● ホームページ



● KIO キャリアナビ



● KIO Smile Blog



KIO Smile Blog 掲載実績

2011年度は年間で211本、2012年度は301本、2013年度も下記のようにほぼ毎日、新しい記事を掲載しています。

年度	4月	5月	6月	7月	8月
2013	22	18	22	38	21

● 最近の主な記事

- 2013/08/26 畿央大学短期語学留学プログラム 現地レポートNo.3
- 2013/08/20 白浜夏合宿レポート～人間環境デザイン学科 加藤ゼミ
- 2013/08/08 平成25年度第5回夏季エコパトロール実施中！（エコキャンパス推進委員会）
- 2013/08/07 WHO（世界保健機関）・JICA（独立行政法人国際協力機構）校外学習～看護医療学科4回生～
- 2013/08/05 学生広報スタッフblog vol.87～人間環境デザイン学科の「講評会」レポート！
- 2013/08/02 奈良県食育推進ロゴマークに健康栄養学科4回生の作品が選ばれました！
- 2013/07/30 現代教育学科1回生が大阪教育大学附属池田小学校を訪問しました。
- 2013/07/30 畿友会主催「Summer Festival」開催レポート！
- 2013/07/29 奈良県中央卸売市場連携 給食経営管理論実習前期最終授業「奈良県産食材を使ったヘルシーレシピ発表会」を開催しました。
- 2013/07/29 おかめ納豆のタカノフーズから特別講師！「食品設計開発学演習」
- 2013/07/26 国際姿勢歩行学会で、本学の客員研究員が受賞！
- 2013/07/25 健康科学部1回生「ベーシックセミナー発表会」が行われました！
- 2013/07/24 奈良県中央卸売市場連携事業 給食経営管理論実習での奈良県産食材を使った調理メニュー創作第8弾

第11回 畿央祭 テーマ:彩(いろどり) 2013年10月19日(土) 20日(日) 10:00 ~ 18:00

今年の畿央祭のテーマは「彩(いろどり)」です。

「彩」とは、美しい色をつけることを意味しています。“十人十色”という言葉があるように、人はそれぞれ考え方、好みなどが異なっています。多くのひとが集まる大学は、毎日が個性で彩られています。学園祭でも個性を出し合い、普段見られない一面を各企画で発揮し、より彩られた畿央祭になるようにと思い、このテーマにしました。

また、今年は実行委員の人数も例年より多いため、それぞれ力を発揮して色味あふれる畿央祭にしたいです。

一人ひとりの個性が一つ一つの色になり、すべて集まって「彩」になり、個性豊かな畿央祭を作りたいと考えています。

畿央祭実行委員長 黒田 明里



畿央祭参加に 後援会より補助が出ます

畿央祭実行委員会は4月下旬に結成されましたが、実行委員は200名を超え、過去最大の実行委員会となって、祭りの成功にむけて積極的に活動しているようです。その様子は大学のホームページで紹介されています。後援会では、畿央祭に参加される保護者の皆さまに金券1,000円の補助をすることにしています。9月末ごろに詳しい畿央祭案内とあわせて当日の引換券が大学から送付されます。畿央祭に参加され、日ごろとはまた違った学生の一面を発見されることも多いようです。皆さまの参加をお待ちしております。

授業日カレンダー

大学での授業は、前期・後期各15回行われます。①～⑯は授業曜日ごとの授業週数を表しています。⑮⑯週の後最終授業期間は、独自の時間割で定期試験、平常授業、補講が行われます。曜日によっては15回の確保のため、祝日に授業を行うこともあります。

注：①～⑯は各曜日の授業回数、※印のついた日は校舎内に入ることできません。■は休講日

健康科学部

9月	10月	11月	12月	1月	2月
日曜 内容	日曜 内容	日曜 内容	日曜 内容	日曜 内容	日曜 内容
1日	1火①	1金⑤	1日	1水元日 ※	1土⑮
2月 前期成績・後期学 納金振込票発送	2水①	2土⑤	2月⑨	2木 ※	2日 最
3火	3木①	3日 文化の日 指定教推薦入試 ※	3火⑨	3金 ※	3月⑮ 終
4水	4金②	4月⑤ 授業日(文化の 日振替休日)	4水⑩	4土	4火⑮
5木	5土②	5火 補講日	5木⑩	5日	5水⑮ 授
6金	6日	6水⑥ 履修登録 変更期切	6金⑩	6月⑫	6木⑮ 業
7土	7月② 履修登録 変更期切	7木⑥	7土⑨	7火⑬	7金⑮ 期
8日	8火②	8金⑥	8日	8水⑬	8土⑮
9月	9水②	9土 公募推薦入試	9月⑩	9木⑬	9日 期 大学院 入試
10火	10木②	10日 公募推薦入試	10火⑩	10金⑬	10月⑮
11水	11金③	11月⑥	11水⑪	11土⑬	11火 建国記念日
12木	12土③	12火⑥	12木⑪	12日	12水
13金	13日 AO入試 ※	13水⑦	13金⑪	13月 成人の日	13木 追
14土	14月③ (体育の日)	14木⑦	14土⑩	14火⑭	14金 再
15日	15火③	15金⑦	15日	15水⑭	15土 試
16月 敬老の日	16水③	16土⑥	16月⑪	16木⑭	16日 期
17火	17木③	17日 公募推薦入試	17火⑪	17金 試験会場設置 (休講日)	17月 期
18水	18金 畿央祭準備	18月⑦	18水⑫	18土 大学入試セン ター試験 ※	18火
19木	19土 畿央祭	19火⑦	19木⑫	19日 大学入試セン ター試験 ※	19水 一般入試
20金 前期卒業式	20日 畿央祭	20水⑧	20金⑫	20月⑬	20木
21土 後期オ ンライン 入試	21月 カンパバン 後期学納金振込票 入金期切	21木⑧	21土⑪	21火 補講日	21金
22日	22火④	22金⑧	22日	22水 一般入試	22土
23月 秋分の日	23水④	23土⑦ 授業日(勤労 感謝の日)	23月⑫ 授業日(卒業生 と在校生の授業)	23木 一般入試	23日
24火	24木④	24日	24火⑫	24金⑭	24月
25水	25金④	25月⑧	25水 補講日	25土⑭	25火
26木	26土④	26火⑧	26木 補講日	26日 一般入試	26水
27金 ①授業開始	27日	27水⑨	27金	27月⑭	27木
28土①	28月④	28木⑨	28土	28火⑮ 最終 授業期間	28金
29日	29火⑤	29金⑨	29日 ※	29水⑮	
30月①	30水⑤	30土⑧	30月 ※	30木⑮	
	31木⑤		31火 ※	31金⑮	

教育学部

9月	10月	11月	12月	1月	2月
日曜 内容	日曜 内容	日曜 内容	日曜 内容	日曜 内容	日曜 内容
1日	1火 ①	1金④	1日	1水元日 ※	1土⑭
2月 前期成績・後期学 納金振込票発送	2水	2土④	2月⑧	2木 ※	2日
3火	3木	3日 文化の日 指定教推薦入試 ※	3火⑧	3金 ※	3月⑭
4水	4金 ①授業開始	4月④ 授業日(文化の 日振替休日)	4水⑨	4土	4火⑮
5木	5土①	5火 補講日	5木⑨	5日	5水⑮
6金	6日	6水⑤	6金⑨	6月⑪	6木⑮
7土	7月①	7木⑤	7土⑧	7火⑫	7金⑮ 最
8日	8火①	8金⑤	8日	8水⑫	8土⑮ 終
9月	9水①	9土 公募推薦入試	9月⑨	9木⑫	9日 期 大学院 入試
10火	10木①	10日 公募推薦入試	10火⑨	10金⑫	10月⑮ 授
11水	11金②	11月⑤ 履修登録 変更期切	11水⑩	11土⑫	11火⑮ 業
12木	12土②	12火⑤	12木⑩	12日	12水⑮ 期
13金	13日 AO入試 ※	13水⑥	13金⑩	13月 成人の日	13木⑮ 期
14土	14月② 授業日(体育の日) 履修登録変更期切	14木⑥	14土⑨	14火⑬	14金⑮ 期
15日	15火②	15金⑥	15日	15水⑬	15土⑮
16月 敬老の日	16水②	16土⑤	16月⑩	16木⑬	16日
17火	17木②	17日 公募推薦入試	17火⑩	17金 試験会場設置 (休講日)	17月⑮
18水	18金 畿央祭準備	18月⑥	18水⑪	18土 大学入試セン ター試験 ※	18火
19木	19土 畿央祭	19火⑥	19木⑪	19日 大学入試セン ター試験 ※	19水 一般入試
20金 前期卒業式	20日 畿央祭	20水⑦	20金⑪	20月⑫	20木 13回生 ガイダンス
21土	21月 カンパバン 後期学納金振込票 入金期切	21木⑦	21土⑩	21火 補講日	21金 14回生 ガイダンス
22日	22火③	22金⑦	22日	22水 一般入試	22土
23月 秋分の日	23水③	23土⑥ 授業日(勤労 感謝の日)	23月⑪ 授業日(卒業生 と在校生の授業)	23木 一般入試	23日
24火	24木③	24日	24火⑪	24金⑬	24月
25水	25金③	25月⑦	25水 補講日	25土⑬	25火
26木	26土③	26火⑦	26木 補講日	26日 一般入試	26水
27金 後期オ ンライン 入試	27日	27水⑧	27金	27月⑬	27木
28土	28月③	28木⑧	28土	28火⑭	28金
29日	29火④	29金⑧	29日 ※	29水⑭	
30月	30水④	30土⑦	30月 ※	30木⑭	
	31木④		31火 ※	31金⑭	